平成22年度上期 香川県の販売電力量について

需要の概要

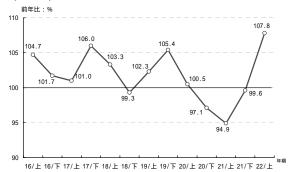
平成22年度上期の販売電力量は、39億3百万和ワット時、 前年比107.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月から9月にかけて気温が 前年に比べ高く推移し、冷房需要が増加したことなどから、 前年比111.4%となった。

需要実績			(百万和9ット時、%)
			電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電	灯	1,230	111.4
	電	カ	239	106.5
	計		1,469	110.6
特定規模需要 (自由化対象)	業務用	用電力	989	104.2
	産業用電力		1,445	107.5
	うち大口電力		(1,126)	(108.1)
	計		計 2,434	
販売電力量 計		3,903	107.8	

(参考1)販売電力量の前年比の推移



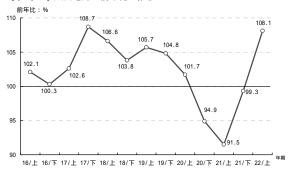
事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」 と同様の気温要因などから、前年比104.2%となった。

産業用の「大口電力」は、ほとんどの業種で前年を上 回ったことから、前年比108.1%となった。

大口電力の	主な産業別内語	R	(百万和ワット時、%)				
	電力量	前年比					
	电刀里	22/上期	21/下期	21/上期			
食料品	119 (10.5)	101.7	93.2	100.3			
紙・パルプ	90 (7.9)	102.8	99.0	93.4			
化学	174 (15.5)	105.8	108.0	94.4			
石油・石炭	189 (16.8)	112.2	94.0	85.3			
鉄鋼	74 (6.6)	82.1	72.1	86.6			
機械	177 (15.8)	116.2	111.8	89.6			
その他	303 (26.9)	115.9	104.9	92.6			
合 計	1,126	108.1	99.3	91.5			

()内は、構成比

(参考2)大口電力の前年比の推移



(参考3)局松市平均気温							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 績	9.3	13.2	18.8	23.9	27.8	30.4	26.7
平年差	0.9	0.7	0.2	1.4	1.2	3.1	3.2
前年差	0.6	2.4	1.0	0.1	1.3	2.6	2.4